

最 新 日 文 敬 語

矢 野 義 憲 編 著

369.9
02

最 新 日 文 敬 語

矢 野 義 憲 編 著

大 新 書 局 印 行

中華民國七十二年五月二版

最新日文敬語

特 價：八十元正

編著者：矢野義憲

印行者：大新書局

發行人：林寶憲

地址：台北市仁愛路3段24巷1弄5之1號

電話：七〇三九六三九

發行所：大新書局

郵政劃撥戶：一七三九〇號

印刷者：大誠印刷廠

地址：台北市萬大路七一巷九號

電話：三〇八二八六九

版權所有 ※ 翻印必究

本書局登記證字號：行政院新
聞局局版臺業字第〇八六九號

最新日文敬語

目 次

はじめに<前言>.....	12
第1章 敬語の意義<敬語的意義>.....	19
第1節 これからの中の敬語の基本方針	
<今後敬語之基本方針>.....	20
第2節 敬語の意義<敬語的意義>.....	22
第2章 敬語の種類<敬語之種類>.....	27
第1節 尊敬語<尊敬語>.....	28
(1) 尊敬語の意義<尊敬語的意義>.....	28
(2) 尊敬語の種類<尊敬語的種類>.....	30
A. 人称代名詞<人稱代名詞>.....	30
B. 接尾語<接尾語>.....	30
C. 接頭語<接頭語>.....	32
D. 動詞<動詞>.....	34

第2節 謙讓語<謙讓語>.....	42
(1) 謙讓語の意義<謙讓語的意義>.....	42
(2) 謙讓語の種類<謙讓語的種類>.....	44
A. 人称代名詞<人稱代名詞>.....	44
B. 接頭語<接頭語>.....	44
C. 接尾語<接尾語>.....	44
D. 動詞<動詞>.....	46
第3節 丁寧語<關切語>.....	58
(1) 丁寧語の意義<關切語的意義>.....	58
(2) 丁寧語の種類<關切語的種類>.....	60
A. 接頭語<接頭語>.....	60
B. 動詞<動詞>.....	62
C. 助動詞<助動詞>.....	66
第3章 敬語の使い方<敬語用法>.....	75
第1節 尊敬語の使い方<尊敬語的用法>.....	76
(1) 尊敬語の種類<尊敬語的種類>.....	76
(2) 尊敬語の使い方<尊敬語的用法>.....	76

A. あがる、召し上がる	76
B. いらっしゃる、行かれる、こられる、 おられる	78
C. お	82
D. おいで	86
E. おこし	90
F. お——です	92
G. おっしゃる・言われる	92
H. お・ご——になる	94
I. おん	96
J. くださる	98
K. ご	106
L. ござんじ	112
M. ごらん	112
N. なさる	114
O. みえる	116
P. めす	116

Q. れる・られる	120
第2節 謙譲語の使い方<謙譲語的用法>	134
(1) 謙譲語の種類<謙譲語的種類>	134
(2) 謙譲語の使い方<謙譲語的用法>	134
A. あがる	136
B. さしあげる、あげる	136
C. いたす	138
D. いただく	140
E. うかがう	144
F. お	144
G. おさせる	146
H. おする	148
I. おめにかかる	154
J. おめにかける	156
K. おる	156
L. かしこまる	158
M. ご	160

N.	こうむる	162
O.	しょうち	162
P.	ぞんじる	164
Q.	まいる	166
R.	もうしあげる	168
S.	もうす	170
第3節 丁寧語の使い方<關切語的用法>		172
(1)	丁寧語の種類<關切語的種類>	172
(2)	丁寧語の使い方<關切語的用法>	174
A.	いかが	174
B.	いたす	174
C.	いただく	176
D.	お	178
E.	おる	182
F.	かねる	184
G.	ください	186
H.	ござります	190

I. ぞんじます.....	192
J. です.....	194
K. なくなる.....	198
L. なさい.....	200
M. ねがう.....	202
N. まいる.....	204
第4章 常用語の敬度比較表<常用語敬度比較表>.....	209
(1) 召し上がりましたか.....	210
(2) いらっしゃいましたか.....	212
(3) いらっしゃって下さい.....	212
(4) ご存じですか.....	214
(5) ご覧下さい.....	214
(6) 何を召し上がりますか.....	214
(7) 存じております.....	216
(8) お見えになりますか.....	216
(9) さしあげます.....	218
(10) いかがですか.....	218

(11) ございます.....	218
(12) たいへん結構です.....	220
(13) おはようございます.....	220
(14) 恐れ入りますが、お見せ下さいませ.....	220
(15) ありがとうございます.....	222
(16) ご覧になられましたか.....	222
(17) あがります.....	222
(18) まいります.....	224
(19) おっしゃいましたか.....	224
(20) おめにかかります.....	226
(21) おめにかけます.....	226
(22) まいりましょう.....	226
(23) お願ひ申し上げます.....	228
(24) 亡くなられました.....	228
(25) 召し上がって下さい.....	228
(26) お帰りになられますか.....	230
(27) お待ち下さいませんか.....	230

(28) 待たせていただきます	232
(29) いらっしゃいませ	232
(30) いらっしゃいますか	232
(31) いたします	234
(32) いただけませんか	234
(33) いただきました	236
(34) お伝えいたします	236
(35) 拝借いたします	236
(36) お貸し申し上げます	238
(37) お貸しいただけませんか	238
(38) 拝見いたしました	240
(39) よろしいですか	240
(40) 結構です	242
(41) お答え申し上げます	242
(42) お求めになられましたか	244
(43) お召しになつて下さい	244
(44) お気に召しましたか	244

(45) 申し上げました.....	246
(46) ご結婚なさいますか.....	246
(47) 致しません.....	248
(48) お世話さまでした.....	248
(49) お待たせいたしました.....	248
(50) お先に失礼させていただきます.....	250
(51) おわかりになりましたか.....	250
第5章 家族の敬称<家族、家庭敬稱>	253
第6章 広告の敬語<廣告敬語>	269
(1) 尊敬語を使った広告文 <使用尊敬語的廣告文章>.....	270
(2) 謙譲語を使った広告文 <使用謙譲語的廣告文章>.....	272
(3) 丁寧語を使った広告文 <使用關切語的廣告文章>.....	272
付 錄	277
■ あいさつ語<寒喧客套語>	278

- 六大販賣用語<六大販賣用術語>..... 290
- 敬語常識<敬語的常識>..... 296



はじめに

わたくし　　たい　　おん　　かた　　にほんご
私は、よく台湾の方に、『日本語は、どんなところが
むずかしいですか。』とたずねますが、その返事は、きまつ
て、『助詞と敬語の使い方がたいへんむずかしいです。』と
いうことです。『敬語』は、日本語の特色の一つだともい
えるでしょう。

ことば　　ところ　ひょうげん　おも　　ことば　　にん　けん　かん　けい
言葉は、心の表現だと思います。言葉は、人間関係の
れし　わた　　い　せん　　たい　　おん　　かた　　どう　きよ
橋渡しをします。以前に、台湾の方と同居しているころ
『陳先生在不在？（陳君はいないかね？）』という電話をよ
く受けたことがありました。たいへん感じが悪くて、たと
えその人がいても、つい『不在!!（いない!!）』と言いたく
なることがあります。しかし、これを、『請問陳先生在嗎？
（すみませんが、陳さんは、おりませんでしょうか？）』と
い　　あいて　　きもち
言ったらどうでしょうか。相手は、たいへん気持ちがいいはず
です。

あか　　にん　　けん　　かん　　けい
明るい人間関係をつくるには、やはり『敬語』を使う

前　　言

我常問臺灣的人『日語是什麼地方難？』回答總是『助詞和敬語的用法很難』。『敬語』可以說是日語的特色之一吧！

語言是心的表現。語言溝通了人際關係。以往，和臺灣的人住在一起時，常接到這樣的電話『陳先生在不在？』，給我的感覺很壞，就算那個人在，我也會不覺地想告訴他『不在！』。可是這句話若是這樣問的話『請問陳先生在嗎？』，又如何呢？對方一定覺得很舒坦。

要造成明朗的人際關係，還是該使用『

べきだと思います。手前みそですみませんがく私の中中国語はまだまだ下手なことは下手ですが>タクシーに乗ったときには、必ず『司機先生，麻煩您，请您送到西門町，好嗎？(運転手さん、すみませんが西門町まで行ってくれませんか。)』ということにしています。

私が時々行く理髪店の従業員がよく私に、『ごはん食べるか？』とたずねることがあります、この従業員は、あまり日本語を勉強したことがない人ですから、この人の日本語は、精一杯努力して話そうとする日本語として、たとえ『敬語』を使っていなくてもこれはこれなりにわかつてやらなければならないと思います。しかし、この本を読んで下さるあなたは、もう長く日本語を勉強しておられるはずだと思いますので、あなたなら、『まうごはんを召し上がりましたか。』といってほしいと思います。

あなたのつとめておられる職場には、大勢の日本人がこられると思いますが、そんな方々には、やはり『敬語』を使ってほしいと思います。